

京都府山城地域

農林業体験
農村生活体験

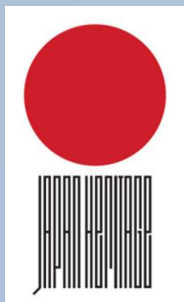
京都お茶の郷 まるごと田舎体験

日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」の舞台で民泊体験



●山城地域って、どんなところ？

日本遺産 「日本茶800年の歴史散歩」の舞台



え？京都で民泊？と思われるかもしれません。京都府の南部、山城地域。伝統ある宇治茶の産地であり、山を覆うように美しい茶畑が広がります。自然豊かで、茶畑や茶工場の間に民家が点在する独特の風景があり、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」の舞台でもあります。その山城地域で、宇治茶の約7割を生産するお茶の郷、和束（わづか）町と南山城村、歴史と観光資源に支えられた笠置（かさぎ）町の3町村を中心に、民泊・田舎体験を展開しています。

わづかちょう 和束町

和束の茶畑

チャはツバキ科の常緑樹。
年間を通じていろいろな茶畑
の表情を見せてくれます。



かささちよう
笠置町



みなみやましろむら
南山城村



お茶の新芽 春



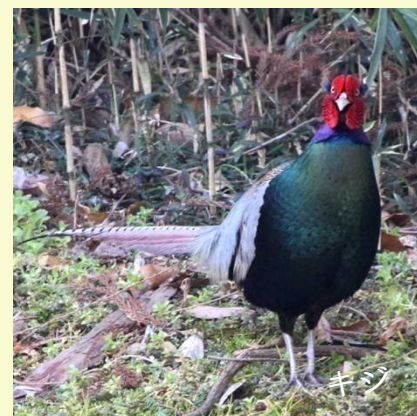
稲刈りは早め 秋



夏



お茶の花 秋



キジ



お茶供養



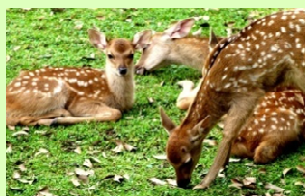
柿と茶畑 秋



霜の茶畑 冬

●山城地域って、
どんなところ？

京都・奈良に近い田舎



奈良公園（40分）



宇治橋（40分）



京都駅（1時間強）



大阪（1時間強）



山城地域は、京都市内、大阪市内から車で1時間強、宇治市や奈良市から30～40分という立地にあります。

急傾斜の山が連なる山間地域であるため、都市圏に近いわりに、京都にもこんな田舎が？と驚かれるくらい、豊かな自然と素朴な暮らしが残っています。

京都や奈良での歴史学習と合わせて、田舎体験が可能です。

ACCESS

公共交通機関（JR経由）

新大阪	80min	加茂駅	15min	和束・笠置・南山城
大 阪	70min			
京 都	60min			
宇 治	45min			
奈 良	15min			
名古屋	130min			

バス・車（高速道路経由）

伊丹空港	75min	和束・笠置・南山城
関西空港	95min	
新大阪	75min	
京 都	65min	
奈 良	35min	
USJ	85min	
名古屋	150min	

民泊を絡めた滞在プラン



例：1泊2日の場合



例：2泊3日の場合



受入家庭の家業



茶農家 / お茶屋 / 製茶機械店 / 農家 / 農家民宿 / 飲食店 / 仏師 / 職人 / 工務店
 学校の先生 / 建設業 / 酒屋 / 雑貨店 / 役場・団体職員 / 議員 / 会社員 など

家庭でできる体験例

茶畑や町の名所散策 / 畑で野菜や果物収穫・種まきなどの作業 / お茶摘み / 茶畑作業手伝い
 田植え・田んぼの作業手伝い / 家業手伝い / 山菜採り / 植物採集 / 薪割り / 庭の草ひき
 食事づくり / お菓子づくり / もちつき / 郷土食づくり (団子、漬物、こんにゃく、干し柿、梅酒など)
 お茶淹れ / 抹茶点て・茶道体験 / ほうじ茶づくり / 抹茶アート / 茶染め / 草木染め / 生け花
 手芸 / 切り絵 / 陶芸 / わら細工 / 木工 / 苔玉づくり / 竹細工 / 昔の遊び など

ありのままの生活を体験する 農村宿泊体験



この山城地域に暮らす人々とふれあう農村宿泊体験（民泊）。
2014年度からインバウンドを中心に受入を始め、250人まで受入が可能です。



①入村式 ようこそ山城地域へ！



②ドキドキの対面



③畑で野菜を採って…



④家庭料理をいっしょに



⑤家族みんなでごはん



⑥お話や遊びや体験など



⑦布団をしいて就寝



⑧離村式 涙のお別れ



⑨お見送り また来てね！

山城地域を みんなの第二のふるさとに

受入家庭のある和束町・笠置町・南山城村の3町村はいずれも、人口減少と少子高齢化に悩む地域。子どもたちとふれあい、交流を楽しみながら、そんな町に活気を取り戻すこと、歴史ある茶業や、茶が身近にある生活を守り伝えることを目的として事業を行っており、賛同した方々が受入家庭になってくれています。

京都・奈良に近い宇治茶の郷での民泊と、お茶を中心とした豊富な体験と学びが可能な地。民泊がこの地域に希望を与えてくれると信じて事業を進めています。

2018年より、大規模修学旅行の受入も本格始動しました。情熱をもってお迎えします。



●使用施設、先生方の宿泊は？

入村・離村式会場

学校規模に合わせて、会場を選定いたします



あじさいホール（300名）



南山城村やまなみホール（250名）



和束町社会福祉センターホール（100名）



笠置いこいの館 多目的広場（200名）



先生方の宿泊先

本部として利用する宿泊施設も、規模に応じて選べます



京都和束荘

- 客室数 4+3（別館）
- 定員 53名
- 会議室 2室
- 風呂 10+5名
- 食事会場
大・小ホール、ラウンジ



南山城自然の家

- 客室数 16室
- 定員 140名
- 会議室 3室
- 風呂 15+15名
- 食事会場
大食堂、BBQ会場



松本亭

- 客室数 6室
- 定員 42名
- 会議室 1室
- 風呂 7+3名
- 食事会場
宴会場、大広間

これまでの実績

2014年度からインバウンドを中心に受入を重ねてきました。

2018年度から大型修学旅行の受入も本格スタート！！

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
海外：1団体 国内：0	海外：3 国内：1	海外：4 国内：0	海外：11 国内：3	海外：21 国内：8	海外：40 国内：10
台湾/中学生	スウェーデン /スカウト オーストラリア /小団体 台湾/中学生 奈良/小学生 (塾)	奈良/大学生 中国/小団体 中国/団体 大阪/大学生	京都/大学生 神奈川/中学生 大阪/中学生 神戸/大学院留学生 中国/団体 台湾/団体 アメリカ、カナダ、 フランス	【国内】 中学生/230名 ×2 100名 高校生/280名2泊 ほか 【海外】 中国/中学生・塾等 ×11 フランス、ドイツ、フィリ ピン、アメリカ ほか	【国内】 中学生/200名～ ×1 100名規模 ×5 高校生/200名2泊 ほか 【海外】 中国/小学・中学・大学生 ・大人 ×12 台湾/高校生 ×4 フランス・ドイツ ×24 アメリカ ほか

豊富な 茶文化体験プログラム



「日常茶飯事」「無茶苦茶」など、日本語にはお茶にまつわる言葉が沢山あります。お茶という存在が暮らしに欠かせないものであった証です。鎌倉時代に中国から伝えられたお茶を育て、日本人は独特の日本茶（抹茶・玉露・煎茶）と茶文化を発展させてきました。その礎を築き、牽引してきた京都・宇治茶の産地で、今それらに再び目を向け、親しんでいただきたいと思います。茶農家の生業の結晶としての茶畑景観をめぐりながら、お茶や茶づくりについて学ぶ茶畑散策をはじめ、室町時代から歴史がある茶香服（お茶の飲みあてゲーム）など、お茶に親しみ学ぶ、豊富な体験プログラムをご用意しています。



お茶摘み体験（5、6、10月）



茶畑ウォーキング（ガイド付き）



煎茶の美味しい淹れ方体験



茶香服（ちゃかぶき）



お茶飲み比べ体験



お茶の苗木づくり体験

その他自然体験や 農林業体験



お茶以外にも、田舎ならではの体験が可能です。
木津川は、古くは平城京や大仏殿、平安京に木材を運び、また明治時代以降は神戸港まで輸出用のお茶を運ぶ、重要な水運でした。そんな歴史ある木津川を下るカヌー体験や、田舎ならではの農林業体験（野菜や米の収穫体験や農作業体験、木工体験や間伐体験、しめなわ作りなど）も体験できます。



間伐体験



しめなわ作り体験



木工体験

種 類	主な体験プログラム
茶文化体験	美味しいお茶の淹れ方、茶香服、茶摘み、手もみプレート製茶、茶工場見学、お茶の飲み比べ、茶道体験、抹茶アート体験 ほか
農林業体験	茶畑作業、ハーブ農園作業、田植え、稲刈り、野菜栽培、森林間伐 ほか
味覚体験	茶団子作り、フレッシュハーブティー作り、そば打ち、こんにゃく作り、和菓子作り ほか
自然・歴史体験	茶畑ウォーキング、史跡見学、笠置山巡り、蛍観察、星空観察 ほか
アウトドア体験	木津川カヌー体験、笠置山巡り、マウンテンバイク体験 ほか
伝統・工芸・文化体験	木工体験（茶さじ、菓子切り楊枝、バードコール、バターナイフなど） 陶芸体験、しめなわ作り ほか

※体験できるプログラムは、季節により変動します

●お茶のはなし

「夏も近づく～八十八夜～」という歌を、聞いたことがありますか？茶摘み唄です。

立春（2月3日）から数えて88日目、5月2日あたり、お茶の適採期（収穫によい時期）を唄っています。香りのよい「新茶」が採れる時期が近づくと、お茶農家さんの勝負時。山城地域では4月頃から町中がソワソワします。

●お茶の収穫

お茶はツバキ科の常緑樹。葉を摘んでも新しい芽が出てくるので、1年に2～3回収穫を行います。1番茶は4月下旬～5月下旬、2番茶は6月下旬～7月上旬、秋番茶が9月下旬～10月下旬です。

●お茶の種類

緑茶と一口に言っても、煎茶・玉露・抹茶・かぶせ茶・ほうじ茶・玄米茶など、たくさんの種類があります。緑茶は発酵させずに作るもので、同じお茶の葉を発酵させると紅茶に、半発酵させると烏龍茶になります。

●宇治茶

宇治茶というと、宇治市で作られているように思いませんか。京都府・奈良県・滋賀県・三重県の4府県で生産されたお茶のうち、京都府内のお茶屋・問屋さんが京都府内で宇治地域に由来する製法で仕上加工した緑茶を、宇治茶と呼びます。山城地域の和束町・南山城村は、京都府産のお茶のうち、約7割を生産しています。



覆下園
日光を遮り育てる



露地園 収穫の風景
2人刈りの茶刈り機



急いで工場へ

発酵（酸化）が進まないよう、急いで工場へ運びます。※道を歩くときは邪魔にならないように！！



蒸す

発酵（酸化）を止めるために、茶葉を蒸します。よく聞く「深蒸し茶」はこの時間が長いということ



あぶる→乾燥

碾茶炉であぶりながら乾燥させ、パリパリの葉（碾茶・てんちゃ）と軸に分けます。碾茶を挽くと抹茶になります



揉む→乾燥

揉みながら乾燥させると煎茶になります。覆下園の茶葉を揉むと、かぶせ茶・玉露になります

日本茶の歴史

鎌倉～南北朝時代

○栄西（ようさい、臨済宗の開祖）が中国の宋から帰り、お茶を飲む習慣を広める

「茶は養生の仙薬なり」『喫茶養生記』
→お茶は最初、お薬として伝わってきました

○明恵（みょうえ）が栄西から分けられた茶種を京都の栴尾、宇治などに植え始める。

宇治茶栽培のはじまり

室町～安土桃山時代

○足利幕府の奨励を受けて宇治に茶園が開かれる

宇治茶ブランドの確立

○覆下栽培（現在の碾茶栽培方法）が始まる

○千利休らにより茶の湯が完成

江戸時代

○宇治田原湯屋谷の永谷宗円が、煎茶の作り方を生みだす

宇治茶製法（青製煎茶法）の誕生

→身分の高い人の飲み物だったお茶が、庶民にも身近な存在になりました

○玉露の作り方が生み出される

○日米貿易で、茶が生糸と並ぶ重要な輸出品に

お茶の栽培が全国に広がる

明治～昭和時代

○静岡に集団茶園が形成される

○茶業の機械化、品種改良などが進む

○国内消費の増加

日本茶といえば緑茶（煎茶）のイメージができてあがる

○缶入りのお茶の登場

平成時代

○ペットボトルのお茶の登場

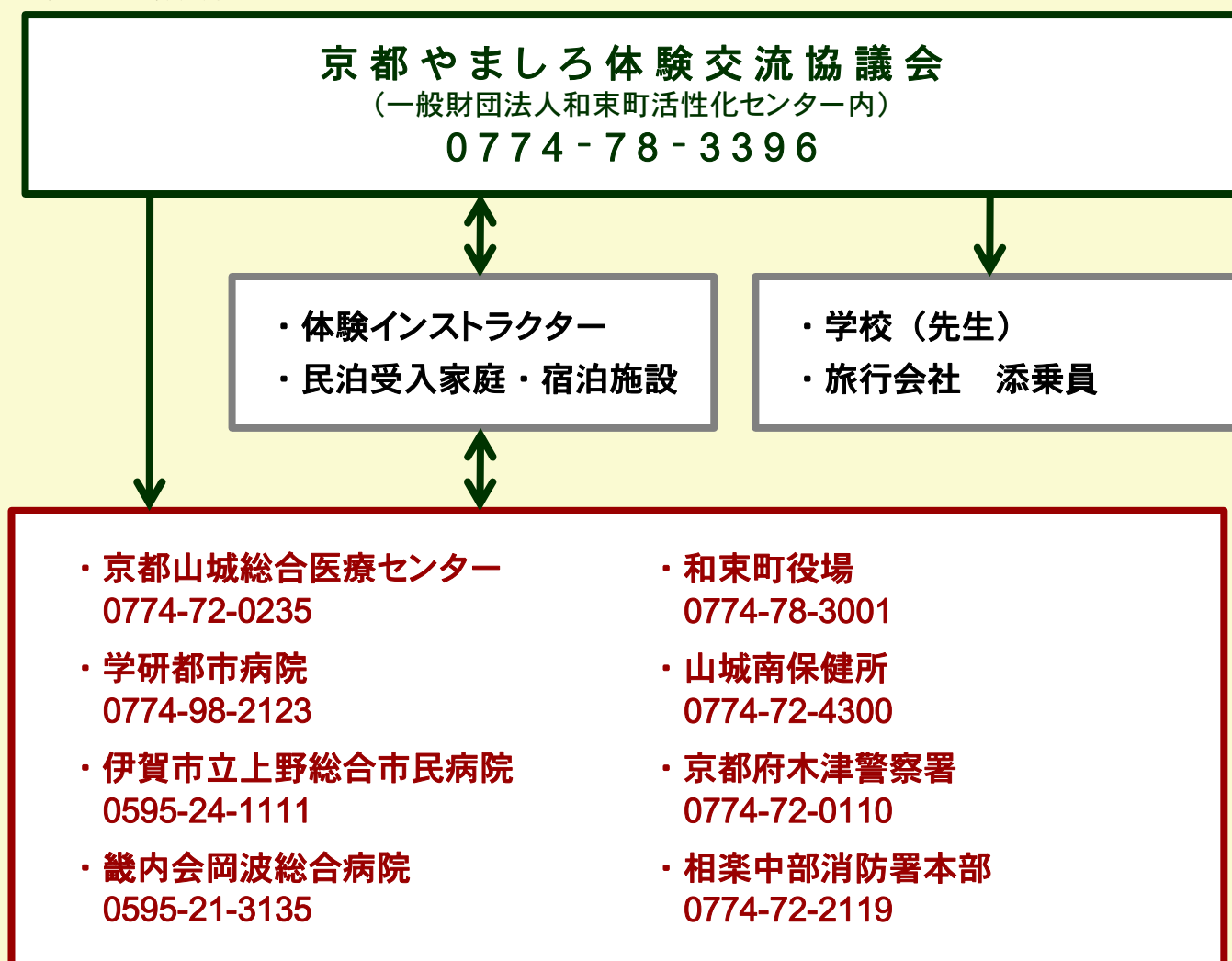
○抹茶のお菓子の流行

●受入体制、緊急時対応は？

受入体制



緊急連絡網



避難場所

和束町：運動公園グラウンド 笠置：産業振興会館 南山城村：本郷コミュニティセンター

安全対策

- ・受入民家・インストラクターに対し、安全・衛生等に関する定期的な講習会受講の義務付け
- ・年1回、保健所による衛生講習会の実施
- ・全ての受入民家・インストラクターへの緊急連絡先記載用紙の携帯の義務付け

加入保険

民泊はファームステイ保険、体験プログラムは行事保険に加入しています

《補償内容》

項 目			①生産物 賠償責任保険	②施設 賠償責任保険	③行事参加者 障害保健
民 泊	対人	1名	7,000万円	7,000万円	
		1事故	1億円（年間）	1億円	
	対物	1事故	1,000万円（年間）	1,000万円	
体 験 プ ロ グ ラ ム	死亡・後遺障害				467.7万円
	入院保険金日額				3,000円／1日
	通院保険金日額				2,000円／1日
	対人	1名		1億円	
		1事故		2億円	
	対物	1事故		1,000万円	

- ①生産物賠償責任保険 : 民泊先での飲食物に起因する食中毒事故等によって生じた身体障害・財物損壊
 ②施設賠償責任保険 : 体験・民泊施設の管理不備等に起因する事故によって生じた身体障害・財物損壊
 ③行事参加者障害保健 : 体験プログラムに参加している間の事故によって生じた身体障害

各町村の概要（2019年1月1日現在）

	和束町（わづか）	笠置町（かさぎ）	南山城村（むら）
人口	3,962人	1,332人	2,755人
世帯数	1,710世帯	643世帯	1,241世帯
面積	64.93m ²	23.52m ²	64.11m ²
産業	茶（京都府の43%）	観光	茶（京都府の25%）
特徴	「日本で最も美しい村 連合」に加盟。茶畑の 景観が徐々に有名に なっており海外の観光 客が増えている町。	桜・紅葉が見事な笠置山 へのハイキング、ボル ダリングなど多くの 人が訪れる。全国で2 番目に人口が少ない町。	京都府内唯一の村で近隣 では「村」といえば南山 城村のこと。平成29年春 にオープンした道の駅 が話題。



↑宇治・京都方面

宇治市

宇治市へ
約40分

京都市内へ
約65分

宇治田原町
煎茶発祥の地

木津川市

あじさいホール

加茂駅

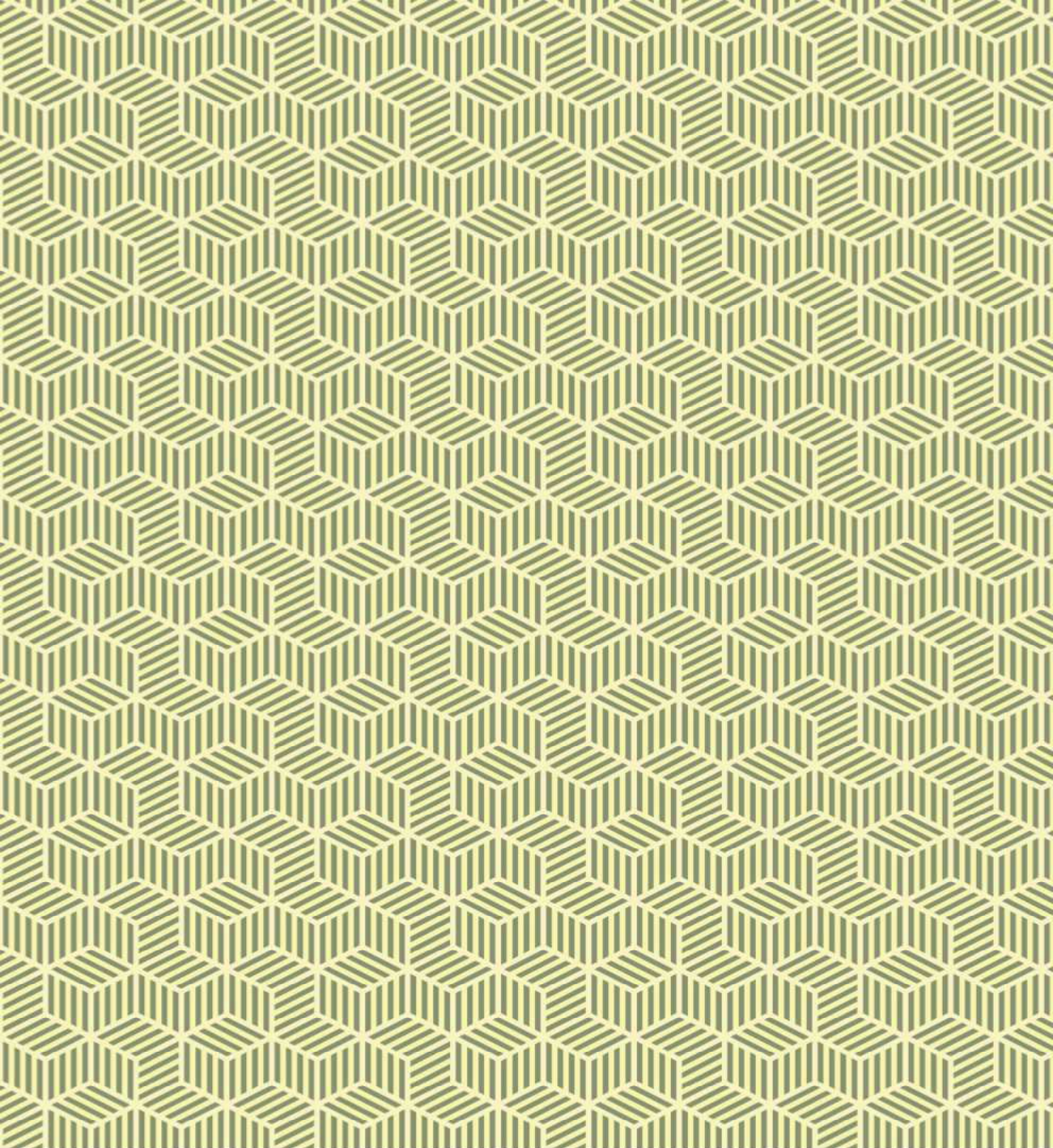
奈良市内へ
約30~40分

↓奈良方面



信楽焼、
伊賀焼も
1時間以内





京都やましろ体験交流協議会

〒619-1222 京都府相楽郡和束町白栖大狭間35（一般財団法人和束町活性化センター内）

TEL | 0774-78-3396 FAX | 0774-66-3496 Email | wazuka-t@chagenkyo.com